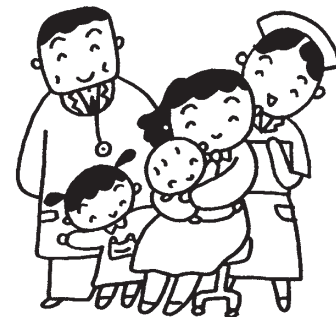


国保料の大幅引き下げ実現を



国保料のH24年度3割もの値上げにより、毎年黒字となり国保基金は61億円も積み立てが。国保運営協議会は保険料引き下げにむけ、活発な議論が続いています。

運営協議会 全委員が引き下げ求める

昨年12月18日の国保運営協議会では、「値上げは必要なかった。余剰金は市民に返還を」「負担は限界、保険料引き下げを」「引き下げに向け、数字の精査を」「引き下げ可能な限界まで市当局は努力を」など全委員が、保険料引き下げの必要性に言及しました。

重い負担の保険料引き下げにむけ、毎年取り組んできた市民運動が運営協議会を動かしています。

H27年～H31年度までの見通しと市当局の引き下げ案

保険料全体額を3億円引き下げし、一般会計からの繰り入れも3億減額という案

H31年度の累計収支 19億円
1世帯あたり Δ 2,949円
1人あたり Δ 2,465円

これで引き下げと
言えるの??

大幅引き下げは可能!!

市当局の引き下げ試算は、61億円の基金を使わず、一般会計からの繰り入れを削減する、という前提で1人あたり年額約2500円と出されたものです(左下表)。

①61億円の基金を活用する

②一般会計からの繰り入れを現状に据え置く
という考えに立てば、国保料の大幅引き下げは充分できます。

「高すぎて払えない」と悲鳴があがっている国保料を引き下げできる条件はあります。市当局はこの声に今こそ、最大限に答えるべきです。

日本共産党静岡市議団ニュース
2015年1月 No.1 国保特集

☎ 054-254-2111 (内線4541)
FAX 054-272-4695
発行 日本共産党静岡市議会議員団